

# Abstract

AROMA RESEARCH No.56 (vol.14/No.4)

香りの機能性に着眼した化粧品素材開発とは?  
土師信一郎

---

〈要旨〉

香料素材は、成分が身体や肌に直接作用して薬理効果を及ぼすだけでなく、その香りが嗅覚を介して脳を刺激することで心身や肌に心理効果や生理効果を及ぼす。これら香料素材の効果は、美白、抗老化、抗菌、リラックス、ホルモンバランス調節、スリミングなど、化粧品に様々な価値を付加するために活用されている。本稿では香料素材の機能に着目した化粧品開発への応用について最近の知見を概説する。

〈キーワード〉

香り、薬理効果、心理効果、生理効果、化粧品